

東洋学園大学学則

目 次

第 1 章	総則	・ ・ ・ 2
第 2 章	大学等の組織、学生定員及び修業年限	・ ・ ・ 2
第 3 章	学年、学期及び休業日	・ ・ ・ 4
第 4 章	入学、編入学、休学、復学、再入学、転入学、転部及び転科	・ ・ ・ 4
第 5 章	退学、転学、除籍及び復籍	・ ・ ・ 7
第 6 章	教育課程及び履修方法等	・ ・ ・ 8
第 7 章	卒業等	・ ・ ・ 8
第 8 章	外国人留学生及び帰国学生	・ ・ ・ 10
第 9 章	科目等履修生及び特別聴講学生	・ ・ ・ 10
第 10 章	検定料、入学金、授業料その他の納付金	・ ・ ・ 11
第 11 章	職員及び事務組織	・ ・ ・ 12
第 12 章	教授会	・ ・ ・ 12
第 13 章	賞罰	・ ・ ・ 14
第 14 章	図書館	・ ・ ・ 14
第 15 章	附属施設	・ ・ ・ 14
第 16 章	研究施設	・ ・ ・ 15
第 17 章	課外及び自治活動の指導	・ ・ ・ 15
第 18 章	課外講座	・ ・ ・ 15
第 19 章	保健及び厚生	・ ・ ・ 15
第 20 章	学則の変更	・ ・ ・ 15
附 則		・ ・ ・ 16
別 表 1		・ ・ ・ 19
別 表 2		・ ・ ・ 35

第1章 総則

(目的)

第1条 東洋学園大学は、学校教育法に基づき、専門の学芸の研究教育を行い、高い理想のもとに深い教養と正しい判断力を身につけ、広い視野と、国際的な識見を備えた有能な人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の教育目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第2章 大学等の組織、学生定員及び修業年限

(大学等の組織)

第3条 本学は、学部及び大学院から成る。大学院学則については、別に定める。

2 本学学部には、グローバル・コミュニケーション学部、人間科学部及び現代経営学部の3学部を置く。

グローバル・コミュニケーション学部にはグローバル・コミュニケーション学科及び英語コミュニケーション学科、人間科学部に人間科学科、現代経営学部に現代経営学科の各学科を置く。

3 グローバル・コミュニケーション学部は、様々な社会事象を正確に判断し、自己の考えを的確に発信することができるコミュニケーション能力と英語による情報や相手の意向などを理解し、自分の考えなどを表現することができるコミュニケーション能力を身に付けた人材を広く社会に輩出することにより、グローバル社会の発展と向上に貢献する人材の育成を目的とする。

(1) グローバル・コミュニケーション学科は、自国や諸外国の地域や文化、社会に関する知識の理解を深めるとともに、現代社会における重要な主題や現代社会が直面する諸課題に関する知識及び社会事情について総合的に理解することにより、実際に生起する社会事象を正確に判断し、自己の考えを的確に発信することができる現代教養人としてのコミュニケーション能力を有して、ビジネスや文化交流、社会活動、地域貢献などの幅広い分野で中核的な役割を担うことができる人材の養成を目指す。

(2) 英語コミュニケーション学科は、英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の情報や相手の意向などを理解し、自分の考えなどを表現するコミュニケーション能力を養うとともに、英語に関する専門的な知識の理解のもとに、英語教育に関する基礎理論や指導法について理解することにより、国際社会や英語教育活動に必要となるコミュニケーション能力を有して、国際関連産業や文化関連産業、教育関連産業などの幅広い分野で活躍することができる人材の養成を目指す。

4 人間科学部人間科学科は、人間に関わる諸問題を深く多角的に理解することにより、人のこころとからだの健康の維持・増進・改善等に参与し、充実した幸せな暮らしの実現に寄与することのできる能力、および社会の様々な場面における人間関係を調整する能力を修得し、豊かで実りある人と人とのつながりの実現に貢献することのできる人材の育成を目指す。

5 現代経営学部現代経営学科は、変貌を遂げる社会的環境の中で、多様化、高度化、複雑化、国際化する現代的な経営課題を的確に認識し、現代的な視点から問題解決ができる基礎的な知識や能力に加えて、21世紀の現代の社会人に求められている幅広い視野と豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目的とする。

(学生定員)

第4条 本学学部及び学科の学生定員は次のとおりとする。

学部学科名	入学定員	編入学定員	総定員
(第3年次)			
グローバル・コミュニケーション学部			
グローバル・コミュニケーション学科	120名	10名	500名
英語コミュニケーション学科	120名	10名	500名
人間科学部			
人間科学科	200名	20名	840名
現代経営学部			
現代経営学科	215名	35名	930名
合計	655名	75名	2,770名

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学学部の修業年限は4年とする。

- 2 在学年限は8年を超えることができない。
- 3 編入学、転入学の場合にあっては、学長が定める在学すべき年数の二倍に相当する年数を超えることができない。
- 4 再入学、復籍、転部又は転科の場合にあっては、退学、除籍、転部又は転科前の在学年数と通算して8年を超えることができない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 本学1年間の授業日数は、定期試験等の日数を含め、35週にわたることを原則とする。学年を、春学期、秋学期の2期に分け、春学期を4月1日より9月15日までとし、秋学期を9月16日より翌年3月31日までとする。

(休業日)

第8条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭23年法律第178号)に規定する休日
 - (3) 創立記念日 5月1日
 - (4) 春季休業日 3月16日より3月31日迄
 - (5) 夏季休業日 8月1日より9月15日迄
 - (6) 冬季休業日 12月21日より翌年1月7日まで
- 2 必要のある場合、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。
 - 3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、編入学、休学、復学、再入学、転入学、転部及び転科

(入学の時期)

第9条 入学の時期は毎学年の始めとする。

- 2 前項の他にも、必要と認めた場合は、学期の区分に従い入学することができる。

る。

(入学の資格)

第 10 条 本学学部の入学資格者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における 1 2 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 1 7 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

(編入学)

第 11 条 次の各号の一に該当する者で、本学学部への編入学を志望する者があるときは、選考の上入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (3) 修業年限 4 年以上の他の大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1 7 0 0 時間以上）を満たすものを修了した者（但し、学校教育法第 56 条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (5) 外国において学校教育における 1 4 年の課程を修了した者
- (6) 本学において、相当の年令に達し短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 前項の規定により入学を許可された者の、既に履修した授業科目及び修得し

た単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

3 前項の規定により認定換算することができる単位数は62単位を上限とする。

4 編入学に関する細則は別に定める。

(入学の出願)

第12条 入学を志願する者は、本学所定の書類に検定料を添えて提出しなければならない。提出の時期、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第13条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第14条 前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに所定の書類を提出するとともに、所定の学納金を納付しなければならない。

2 学長は前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第15条 学生は入学時、保証人を本学に届出なければならない。

保証人は、保証する学生の身上について一切の責任を負う。

2 保証人の資格その他については別に定める。

(休学)

第16条 病気その他の理由で、引続き2ヵ月以上出席できない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められた者については、学長は休学を命ずることができる。

3 学長は、教育上有益と認められた者については、休学することなく、外国の大学又は短期大学等に留学することを許可することができる。なお、当該留学期間に係る在学年数の取り扱いについては、別に定める。

(休学の期間)

第17条 休学期間は、第5条の在学年数に算入しない。

2 休学の期間は、春学期末又は秋学期末を終期とし、連続して2年を超えることは出来ない。

3 休学の期間は、通算で4年を超えることは出来ない。

(復学)

第18条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

2 復学の時期は原則として期の始めとする。

(再入学及び転入学)

第 19 条 再入学、もしくは他の大学から転入学を志望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(転部及び転科)

第 20 条 他学部、もしくは他学科への転部又は転科を志望する者があるときは、当該転部又は転科に係る学部の教授会の議を経てこれを許可することがある。

2 前項の規定により転部又は転科を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、転部又は転科先の学部の教授会の議を経て学長が決定する。

第 5 章 退学、転学、除籍及び復籍

(退学及び転学)

第 21 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

2 他の大学へ転学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍及び復籍)

第 22 条 次の各号の一に該当する者は学長が学部教授会の議を経てこれを除籍する。

- (1) 第 5 条に規定した在学年限を超える者
- (2) 休学の期間が連続して 2 年を超え、なお修学できない者
- (3) 長期間にわたり行方不明の者
- (4) 授業料その他納付金を所定の期日までに納めず、督促してもなお納付しない者

2 前項 (4) 号により除籍された者が復籍を願い出るときは、選考の上、相当年次に復籍することができる。

3 前項の規定により復籍を許可された者の、既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

第 6 章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第 23 条 本学学部を設置する授業科目の種類、単位数等は別表 1 のとおりとする。

(単位の計算方法)

第 24 条 各授業科目の単位数は、45 時間の学修を要する内容をもって 1 単位とすることを標準として、次の基準により単位計算するものとする。

(1) 講義及び演習については 15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目についてはこれらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(単位の授与及び学習の評価)

第 25 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。学習評価の基準は、A、B、C、D の 4 段階とし、A、B、C を合格、D を不合格とする。成績審査の方法は、教授会の議を経て学長が定める。

第 7 章 卒業等

(卒業の要件)

第 26 条 学部学生は卒業のため、在学中に別表 1 の定めに従って、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科、人間科学部人間科学科並びに現代経営学部現代経営学科において 124 単位以上を修得しなければならない。

2 前項の規定に加え、GPA (Grade Point Average) が、2.0 以上なければならない。

3 外国人留学生、帰国学生の卒業の要件については別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 27 条 本学は、教育上有益と認めるときは、学部学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、教授会の議を経て 60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、第 26 条に規定する卒業に必要な単位数に含めること

ができる。

- 2 前項の規定は、学部学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 28 条 本学は、教授会の議を経て学長が教育上有益と認めるときは、学部学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位数を与え、第 26 条に規定する卒業に必要な単位数に含めることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項により本学において修得したものとみなした単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 29 条 本学は、教育上有益と認めるときは、学部学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学部学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 27 条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(卒業)

第 30 条 学部学生が 4 年以上在学し、第 26 条により所定の要件を満たしたとき、学長は教授会の議を経て卒業を認定し、学位記を授与する。

- 2 卒業の時期に関する規程は別に定める。

(学位)

第 31 条 前条により、本学グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の卒業を認められた者には、学士（グローバル・コミュニケーション学）の学位を授与する。

- 2 グローバル・コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科の卒業を認められた者には、学士（英語コミュニケーション学）の学位を授与する。
- 3 人間科学部人間科学科の卒業を認められた者には、学士（心理学）の学位を授与する。

- 4 現代経営学部現代経営学科の卒業を認められた者には、学士（経営学）の学位を授与する。

（資格の取得）

第 32 条 教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。

- 2 本学において、所要資格を取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は次のとおりとする。

学部学科名	免許状の種類及び免許教科
グローバル・コミュニケーション学部	
英語コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）

第 8 章 外国人留学生及び帰国学生

（外国人留学生）

第 33 条 外国人が、大学教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願するときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

- 2 外国人留学生の本学学部への入学に関しては第 10 条から第 15 条の規定を適用する。
- 3 外国人留学生には本学則その他本学の定める諸規程を準用する。
- 4 その他外国人留学生に関する規程は別に定める。

（帰国学生）

第 34 条 外国において、相当の期間、中等教育（国内の中学校又は高等学校に対応する学校における教育）を受けた日本国籍を有する者が、本学学部に入學を志願するときは、選考の上帰国学生として入学を許可することができる。

- 2 帰国学生の本学学部への入学に関しては第 10 条から第 15 条の規定を適用する。
- 3 帰国学生には本学則その他本学の定める諸規程を準用する。
- 4 その他帰国学生に関する規程は別に定める。

第 9 章 科目等履修生及び特別聴講学生

(科目等履修生)

第 35 条 第 10 条に規定する資格を有する者で、本学学部の特定授業科目につき履修しようとする者があるときは、その授業及び研究を妨げない限り、学長は教授会の議を経て、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生には、本学学則第 25 条の規定を準用して単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

(特別聴講学生)

第 36 条 他の大学又は短期大学の学生で、当該大学又は短期大学との協議により、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする者は、特別聴講学生として履修を許可することがある。

2 前項の規定は、大学又は短期大学以外の教育施設等との協議により、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする場合にも準用する。

3 第 1 項の規定は、外国の大学又は短期大学の学生で、当該大学又は短期大学との協議により、本学の授業科目を履修し単位を修得しようとする場合にも準用する。

4 特別聴講学生に関する規程は別に定める。

第 10 章 検定料、入学金、授業料その他の納付金

(検定料等の金額)

第 37 条 検定料、入学金、授業料その他の納付金については別表 2 のとおりとする。

2 入学金、授業料その他の納付金は所定の期日までに納めなければならない。

(休学及び退学等の場合の授業料等)

第 38 条 休学期間の授業料は半額とし、維持費、施設設備費は徴収しない。但し、休学した日及び復学した日に属する期分の授業料その他の納付金は全額を徴収する。

2 前項但書にかかわらず、休学した日に属する期分の授業料その他の納付金を徴収する場合において、休学した日が学期の開始日であるときは、前項本文の規定を適用する。

3 学期の途中で退学し又は除籍された者の当該期分の授業料その他の納付金は徴収する。

4 停学期間中の授業料その他の納付金は徴収する。

(納付金の取扱)

第 39 条 既に納めた入学金、授業料その他の納付金はいかなる場合も返却しない。但し、入学時の授業料等納付金については別に定める。

第 11 章 職員及び事務組織

(職員組織)

第 40 条 本学に、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他必要な職員を置く。

(学長の職務)

第 41 条 学長は、本学を代表し、校務を掌り、所属職員を統督する。

2 学長は、必要に応じ、その職務を補佐する者、若干名を委嘱することができる。

(副学長の職務)

第 42 条 副学長は、学長の職務を助け、又、学長の命を受けた職務を行う。

(教員の職務)

第 43 条 教授は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

2 准教授、講師、助教は、教授に準ずる職務に従事する。

3 助手は、教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

(職員の任用)

第 44 条 職員の任用は、学校法人の人事規程によって行う。

(事務組織)

第 45 条 事務の組織及び業務については別に定める。

第 12 章 教授会

(教授会の構成)

第 46 条 本学学部に次の教授会を置く。教授会は学部長、教授、准教授、講師により構成される。

(1) グローバル・コミュニケーション学部教授会

(2) 人間科学部教授会

(3) 現代経営学部教授会

2 前項第3号に定める教授会は、当該学部の学部長、教授、准教授、講師並びに本学大学院現代経営研究科の研究科長、専攻長、教授、准教授、講師により構成される。

(議長)

第47条 教授会は学部長が招集し、その議長となる。

2 学部長に事故あるときは、学部長は代理を指名する。

(開会の条件)

第48条 教授会は、構成員の三分の二以上の出席がなければ、開会することができない。

(決議)

第49条 教授会の決議は、出席者の過半数の同意による。賛否同数のときは議長の裁決による。

(教授会の招集請求)

第50条 学部長は、構成員の三分の二以上から附議すべき事項を示して教授会の招集を請求された場合、2週間以内にこれを招集しなければならない。

(審議事項)

第51条 教授会は学長が定める次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 授業科目の編成、変更及び実施に関する事項

(2) 学生の入学、退学、休学、転学、除籍、転部、転科、留学及び卒業に関する事項

(3) 学位の授与に関する事項

(4) 学生の訓育指導及び賞罰に関する事項

(5) 教員の選考に関する事項

2 教授会は、学長及び学部長（以下、「学長等」）が掌る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

3 第1項第5号及び教員の人事に関する審議は、学部長及び教授である会員のみで行う。

(理事会との関連事項)

第52条 教授会の決議中、理事会所管事項に関連あるものについては、理事会の承認を要する。

(その他の事項)

第 53 条 学部長は必要と認めたときは、事務職員その他の者を教授会に列席させることができる。この列席者は議決権を持たない。

第 13 章 賞罰

(表彰)

第 54 条 人物学業ともに優秀で他の学生の模範となる者に対して、学長は教授会の議を経て、これを表彰することがある。

(罰則)

第 55 条 本学の規則もしくは命令に従わず、又は学生の本分に反する行為があった者に対して、学長は教授会の議を経て、これを懲戒することがある。

2 前項の懲戒の種類は訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者

(2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められた者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反し、本学に在学させることが適当でないと認められた者

第 14 章 図書館

(図書館)

第 56 条 本学に附属図書館を置く。図書館の規程は別に定める。

第 15 章 附属施設

(附属施設)

第 57 条 本学は一般的施設のほかに、視聴覚教育センター、メディアセンターを置く。視聴覚教育センター、メディアセンターの規程は別に定める。

第 16 章 研究施設

(研究施設)

第 58 条 本学に東洋学園研究センター、東洋学園英語教育開発センター、東洋学園国際交流センター、東洋学園教養教育センターを置く。東洋学園研究センター、東洋学園英語教育開発センター、東洋学園国際交流センター、東洋学園教養教育センターの規程は別に定める。

第 17 章 課外及び自治活動の指導

(学生指導)

第 59 条 学生の課外活動及び自治活動の指導は別に定める規程による。

第 18 章 課外講座

(課外講座)

第 60 条 本学は、課外講座、公開講座又は講習会等を開催することがある。

第 19 章 保健及び厚生

(保健)

第 61 条 本学は学生に対し定期検診を行う。

2 保健室を設置し、校医を嘱託する。

(学生寮)

第 62 条 本学に学生寮を置く。学生寮に関する規則は別に定める。

第 20 章 学則の変更

(学則の変更)

第 63 条 本学則の変更は、本学教授会の議を経て理事会が行う。

附則 1 この学則は平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附則 2 この学則は平成 5 年 4 月 1 日から改定施行する。

- (2) この改定実施後の第 3 5 条の学納金（別表 2）は平成 4 年度の入学生にはこれを適用せず、従前の規定を適用するものとする。

附則 3 この学則は平成 5 年 9 月 1 5 日から改定施行する。

附則 4 この学則は平成 9 年 4 月 1 日から改定施行する。

- (2) この改定実施後の第 2 2 条の規定は、原則として平成 9 年度の入学者から適用する。

- (3) この改定により廃止した授業科目は平成 8 年度以前の入学者には、原則として平成 1 0 年度からこれを適用することとし、平成 9 年度は従前の規定を適用する。

- (4) この改定により新設した授業科目は、平成 8 年度以前の入学者に遡って適用する。

- (5) この改定実施後の第 2 3 条の規定は、平成 8 年度以前の入学者に遡って適用する。但し、修得済の単位数についてはこの限りでない。

附則 5 この学則は平成 1 2 年 4 月 1 日から改定施行する。

附則 6 この学則は平成 1 3 年 4 月 1 日から改定施行する。

附則 7 この学則は平成 1 4 年 4 月 1 日から改定施行する。

附則 8 この学則は平成 1 5 年 4 月 1 日から改定施行する。

附則 9 この学則は平成 1 6 年 4 月 1 日から改定施行する。

- (2) 人文学部英米言語学科、英米地域研究学科及びコミュニケーション学科は、改定実施後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 1 6 年 3 月 3 1 日に当該学部の学科に在学する者が当該学部の学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

- (3) 第 4 条に規定する学生定員は、平成 1 8 年度までの間は次のとおりとする。

学部学科名	平成16年度			平成17年度			平成18年度		
	入学定員	編入学定員(第3年次)	総定員	入学定員	編入学定員(第3年次)	総定員	入学定員	編入学定員(第3年次)	総定員
人文学部									
国際コミュニケーション学科	270	0	270	270	0	270	270	60	330
人間科学科	150	20	370	150	20	370	150	20	370
現代経営学部									
現代経営学科	215	35	600	215	35	650	215	35	690

学部学科名	平成16年度			平成17年度			平成18年度		
	入学定員	編入学定員(第3年次)	総定員	入学定員	編入学定員(第3年次)	総定員	入学定員	編入学定員(第3年次)	総定員
人文学部									
英米言語学科	0	20	370	0	20	260	0	0	130
産米地域研究学科	0	20	370	0	20	260	0	0	130
コミュニケーション学科	0	20	340	0	20	240	0	0	120

(4) この学則は平成16年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお、従前の学則を適用するものとする。

附則 10 この学則は平成17年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成17年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお、従前の学則を適用するものとする。

附則 11 この学則は平成18年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成18年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお、従前の学則を適用するものとする。

附則 12 この学則は平成18年11月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成19年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお、従前の学則を適用するものとする。

附則 13 この学則は、平成18年12月31日から改定施行する。

(2) この学則は平成19年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 14 この学則は、平成19年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成19年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 15 この学則は、平成20年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成20年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 16 この学則は、平成21年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成21年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 17 この学則は、平成22年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成22年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 18 この学則は、平成23年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成23年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお

従前の学則を適用するものとする。

附則 19 この学則は、平成24年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成24年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 20 この学則は、平成25年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成25年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 21 この学則は、平成26年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成26年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 22 この学則は、平成27年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成27年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。ただし、改正後の第25条、第28条、第42条、第51条、第63条については現に在学する学生にも適用する。

附則 23 この学則は、平成28年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成28年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 24 この学則は、平成29年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成29年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。

附則 25 この学則は、平成30年4月1日から改定施行する。

(2) この学則は平成30年度の入学者から適用し、現に在学する学生には、なお従前の学則を適用するものとする。ただし、改正後の第7条、第17条第2項については現に在学する学生にも適用する。

別表1. 授業科目・単位数

a) 基本教育科目 (グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
グローバル・コミュニケーション学科	科演教 目習養	教養基礎演習A	1	1		教養演習科目は必修科目2単位を修得しなければならない。
		教養基礎演習B	1	1		
	英語表現科目	基礎英語1A	1	1		表現伝達科目は、必修科目13単位及び英語表現科目の「応用英語Ⅱ」より2科目2単位を含め、合計20単位以上を修得しなければならない。
		基礎英語1B	1	1		
		基礎英語2A	1	1		
		基礎英語2B	1	1		
		基礎英語3A	1	1		
		基礎英語3B	1	1		
		基礎英語4A	1	1		
		基礎英語4B	1	1		
		応用英語ⅠA	1	1		
		応用英語ⅠB	1	1		
		応用英語Ⅱ-1A	1		1	
		応用英語Ⅱ-1B	1		1	
		応用英語Ⅱ-2A	1		1	
		応用英語Ⅱ-2B	1		1	
		応用英語Ⅱ-3A	1		1	
		応用英語Ⅱ-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-2A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-2B	1		1	
		応用英語Ⅲ-1A	1		1	
		応用英語Ⅲ-1B	1		1	
		応用英語Ⅲ-2A	1		1	
		応用英語Ⅲ-2B	1		1	
		応用英語Ⅲ-3A	1		1	
		応用英語Ⅲ-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-1B	1		1	
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-2A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-2B	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-1A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-1B	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-2A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-2B	1		1		
	初習外国語科目	フランス語A	1		1	日本語A、Bの履修は、留学生・帰国学生に限る。
		フランス語B	1		1	
		中国語A	1		1	
		中国語B	1		1	
		ハンガールA	1		1	
		ハンガールB	1		1	
		スペイン語A	1		1	
		スペイン語B	1		1	
		日本語A	1		1	
		日本語B	1		1	
		フランス語会話	1		1	
		中国語会話	1		1	
	ハンガール会話	1		1		
	スペイン語会話	1		1		
英日 日英 本 科 目	日本語表現法	1	1			
	日本語表現技法	1		1		
情報処 理科 目	情報処理基礎A	1	1			
	情報処理基礎B	1	1			
	情報処理応用A	1		1		
	情報処理応用B	1		1		
	情報処理法1(統計分析)	1		1		
	情報処理法2(プレゼンテーション)	1		1		
情報処理法3(グラフィックデザイン)	1		1			
情報処理法4(プログラミング)	1		1			

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件		
グローバル・コミュニケーション学科	基本教育科目	人間理解	哲学	2		2	教養基礎科目は、区分に関らず20単位以上を修得しなければならない。	
			心理学	2		2		
			宗教学	2		2		
			保健学	2		2		
			スポーツ1	1		1		
			スポーツ2	1		1		
			スポーツ3	2		2		
			文化・芸術理解	文学	2			2
				音楽学	2			2
		舞台芸術		2		2		
		映像文化		2		2		
		世界の美術		2		2		
		博物館学		2		2		
		社会理解		法学	2			2
			政治と経済	2		2		
			社会学	2		2		
			社会思想	2		2		
			近現代日本史	2		2		
			情報学	2		2		
			日本国憲法	2		2		
		世界理解	文化人類学	2		2		
			近現代世界史	2		2		
			世界の文化と地域社会	2		2		
			海外文化演習Ⅰ	2		2		
			海外文化演習Ⅱ	2		2		
			国際体験演習Ⅰ	2		2		
			国際体験演習Ⅱ	2		2		
			地理学	2		2		
			国際関係学	2		2		
			安全保障論	2		2		
		現代の探求	日本社会の抱える諸問題	2		2		
			国際社会の抱える諸問題	2		2		
			生活と環境	2		2		
科学技術と人間	2			2				
先端科学の世界	2			2				
現代社会とジェンダー	2			2				
キャリア教育科目	生命と倫理	2		2				
	キャリアのススメ	2		2				
	スタートアップ・インターンシップ	1		1				
	セルフディベロップメント認定Ⅰ	1		1				
	セルフディベロップメント認定Ⅱ	2		2				
	キャリアデザイン入門	2	2					
	インターンシップ演習Ⅰ	1		1				
	キャリアデザイン	2	2					
	インターンシップ演習Ⅱ	1		1				
	業界研究	2		2				
就職実践演習	2		2					
計			148	19	129	キャリア教育科目は、必修科目2科目4単位を含め、合計4単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目より修得した単位は、教養基礎科目の単位とみなすことができる。		

b) 専門教育科目 (グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
グローバル・コミュニケーション学科	専門基礎科目	グローバル・コミュニケーション入門	2	2		専門教育科目は、以下の要件を満たして合計78単位以上を修得しなければならない。 なお、基本教育科目の各科目区分の要件を満たしたうえ46単位を超えて修得した単位については、8単位を上限として専門教育科目の単位とみなすことができる。
		国際関係入門	2		2	
		グローバル協力入門	2		2	
		グローバル交流入門	2		2	
		Pre-Progressive English	2		2	
		Understanding the World	2		2	
		グローバル・コミュニケーション言語 (フランス語)	2		2	
		グローバル・コミュニケーション言語 (中国語)	2		2	
		グローバル・コミュニケーション言語 (ハンダ)	2		2	
		グローバル・コミュニケーション言語 (スペイン語)	2		2	
	リサーチデザイン	2		2		
	専門基礎科目	グローバルネットワーク論	2		2	①専門基礎科目は、必修科目1科目2単位に加えて、「グローバル・コミュニケーション言語」または「リサーチデザイン」を含め、合計12単位以上を修得しなければならない。 ②専門ゼミ科目は、5科目16単位を修得しなければならない。 ③英語コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までをグローバル・コミュニケーション学科の専門教育科目の単位とみなすことができる。
		国際関係史	2		2	
		グローバル協力論	2		2	
		国連研究	2		2	
		NGOと市民社会	2		2	
		ジェンダー論	2		2	
		平和研究	2		2	
		日本の外交	2		2	
		比較文化論	2		2	
		多文化社会論	2		2	
		国際環境論	2		2	
		資源と環境	2		2	
		マスメディア論	2		2	
		都市社会論	2		2	
		観光学	2		2	
		アメリカの社会と文化	2		2	
		アジアの社会と文化	2		2	
		ヨーロッパの社会と文化	2		2	
		Issues in Globalization	2		2	
		国際関係論	2		2	
		安全保障政策	2		2	
		グローバル・ガバナンス	2		2	
		国際ボランティア論	2		2	
国際社会と法		2		2		
人間の安全保障	2		2			
平和構築	2		2			
開発経済論	2		2			
国際開発と援助	2		2			
異文化交流論	2		2			
アメリカ地域研究	2		2			
アジア地域研究	2		2			
ヨーロッパ地域研究	2		2			
情報と社会	2		2			
都市観光論	2		2			
Topics in Globalization1	2		2			
Topics in Globalization2	2		2			

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
グローバル・コミュニケーション学	専門教育科目	移民と多文化	2		2	
		比較宗教論	2		2	
		ビッグデータと現代社会	2		2	
		グローバル企業と産業	2		2	
		環境問題と国際関係	2		2	
		世界の地誌と観光	2		2	
		日本の伝統文化	2		2	
		ジャーナリズム論	2		2	
		グローバルPBL1	2		2	
		日本語教育法入門	2		2	
		日本文学	2		2	
		国際政治経済学	2		2	
		世界のリーダー	2		2	
		国際日本研究	2		2	
		メディア文化論	2		2	
		報道とメディアの世界	2		2	
		サイバーセキュリティ	2		2	
		企業活動と環境	2		2	
		国際観光政策	2		2	
		ホスピタリティ・ツーリズム	2		2	
		スポーツと国際社会	2		2	
		国際協力キャリアの世界	2		2	
		航空ビジネスの英語	2		2	
		観光ビジネスの英語	2		2	
		グローバルPBL2	2		2	
		エコツーリズム論	2		2	
		ポップカルチャー	2		2	
	日本語研究1 (文法)	2		2		
	日本語研究2 (音声)	2		2		
	日本語研究3 (語彙)	2		2		
	日本語研究4 (歴史)	2		2		
	日本語教育実習	1		1		
	日本語教育法1	2		2		
日本語教育法2	2		2			
専門基礎演習A	2	2				
専門基礎演習B	2	2				
専門応用演習	4	4				
卒業研究演習	4	4				
卒業論文・卒業制作	4	4				
		計	177	18	159	
		合計	325	37	288	

c) 基本教育科目 (グローバル・コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
英語 コミュニケーション 学科	科演教 目習養	教養基礎演習A	1	1		教養演習科目は必修科目2単位を修得しなければならない。 表現伝達科目は、必修科目13単位及び英語表現科目の「応用英語 I-1AB」「応用英語 I-3AB」「応用英語 II」より2科目2単位を含め、合計20単位以上を修得しなければならない。
		教養基礎演習B	1	1		
	英語表現 科目	基礎英語1A	1	1		
		基礎英語1B	1	1		
		基礎英語2A	1	1		
		基礎英語2B	1	1		
		基礎英語3A	1	1		
		基礎英語3B	1	1		
		基礎英語4A	1	1		
		基礎英語4B	1	1		
		応用英語 I A	1	1		
		応用英語 I B	1	1		
		応用英語 I-1A	1		1	
		応用英語 I-1B	1		1	
		応用英語 I-3A	1		1	
		応用英語 I-3B	1		1	
		応用英語 II-1A	1		1	
		応用英語 II-1B	1		1	
		応用英語 II-2A	1		1	
		応用英語 II-2B	1		1	
		応用英語 II-3A	1		1	
		応用英語 II-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) I-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) I-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) I-2A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) I-2B	1		1	
		応用英語 III-1A	1		1	
		応用英語 III-1B	1		1	
		応用英語 III-2A	1		1	
		応用英語 III-2B	1		1	
		応用英語 III-3A	1		1	
		応用英語 III-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) II-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) II-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス) II-2A	1		1	
	ALPS(英語特別選抜クラス) II-2B	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス) III-1A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス) III-1B	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス) III-2A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス) III-2B	1		1		
	初習外国語 科目	フランス語A	1		1	
		フランス語B	1		1	
		中国語A	1		1	
		中国語B	1		1	
		ハングルA	1		1	
		ハングルB	1		1	
		スペイン語A	1		1	
スペイン語B		1		1		
日本語A		1		1		
日本語B		1		1		
フランス語会話		1		1		
中国語会話	1		1			
ハングル会話	1		1			
スペイン語会話	1		1			
実 日 語 本 科 目	日本語表現法	1	1			
	日本語表現技法	1		1		
情 報 処 理 科 目	情報処理基礎A	1	1			
	情報処理基礎B	1	1			
	情報処理応用A	1		1		
	情報処理応用B	1		1		
	情報処理法1(統計分析)	1		1		
	情報処理法2(プレゼンテーション)	1		1		
情報処理法3(グラフィックデザイン)	1		1			
情報処理法4(プログラミング)	1		1			

日本語A、Bの履修は、留学生・帰国学生に限る。

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件	
英語 コミュニケーション 学科	基本 教育 科目	人間 理解	哲学	2		2	教養基礎科目は、区分に関らず20単位以上を修得しなければならない。
			心理学	2		2	
			宗教学	2		2	
			保健学	2		2	
			スポーツ1	1		1	
			スポーツ2	1		1	
		スポーツ3	2		2		
		文化・ 芸術 理解	文学	2		2	
			音楽学	2		2	
			舞台芸術	2		2	
			映像文化	2		2	
			世界の美術	2		2	
			博物館学	2		2	
		社会 理解	法学	2		2	
			政治と経済	2		2	
			社会学	2		2	
			社会思想	2		2	
			近現代日本史	2		2	
			情報学	2		2	
		世界 理解	日本国憲法（基本的人権）	2		2	
			文化人類学	2		2	
			近現代世界史	2		2	
			世界の文化と地域社会	2		2	
			海外文化演習Ⅰ	2		2	
			海外文化演習Ⅱ	2		2	
			国際体験演習Ⅰ	2		2	
			国際体験演習Ⅱ	2		2	
			地理学	2		2	
			国際関係学	2		2	
		安全保障論	2		2		
		現代 の探 求	日本社会の抱える諸問題	2		2	
			国際社会の抱える諸問題	2		2	
			生活と環境	2		2	
			科学技術と人間	2		2	
			先端科学の世界	2		2	
			現代社会とジェンダー	2		2	
		キャ リア 教育 科目	生命と倫理	2		2	
			キャリアのススメ	2		2	
			スタートアップ・インターンシップ	1		1	
			セルフディベロップメント認定Ⅰ	1		1	
			セルフディベロップメント認定Ⅱ	2		2	
キャリアデザイン入門	2		2				
インターンシップ演習Ⅰ	1			1			
キャリアデザイン	2		2				
インターンシップ演習Ⅱ	1			1			
業界研究	2			2			
就職実践演習	2		2				
計			152	19	133	キャリア教育科目は、必修科目2科目4単位を含め、合計4単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目より修得した単位は、教養基礎科目の単位とみなすことができる。	

d) 専門教育科目 (グローバル・コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件	
英語 コミュニケーション 学科	専門 基礎 科目	グローバル・コミュニケーション入門	2	2		専門教育科目は、以下の要件を満たして合計78単位以上を修得しなければならない。 なお、基本教育科目の各科目区分の要件を満たしたうえで46単位を超えて修得した単位については、8単位を上限として専門教育科目の単位とみなすことができる。	
		ことばとコミュニケーション *	2		2		
		国際社会とコミュニケーション *	2		2		
		英語コミュニケーションの背景1 *	2		2		
		英語コミュニケーションの背景2 *	2		2		
		児童英語教育入門	2		2		
		言語学入門	2		2		
		英語発音法入門	2		2		
		言語社会学入門	2		2		
		Pre-Progressive English	2		2		
		Understanding the World	2		2		
	専門 教育 科目	専門 基 幹 科 目	教職概論	2		2	①専門基礎科目は、必修科目1科目2単位に加えて、「*」印が付された科目から4単位以上、合計6単位以上を修得しなければならない。 ②専門基幹科目は、必修科目2科目4単位に加えて、「**」印が付された科目から12単位以上、合計16単位以上を修得しなければならない。 ③専門ゼミ科目は、5科目16単位を修得しなければならない。 ④グローバル・コミュニケーション学科、人間科学部、現代経営学部の専門教育科目を履修した場合、合わせて24単位までを英語コミュニケーション学科の専門教育科目の単位とみなすことができる。
			教育史	2		2	
			Progressive English1	2	2		
			Progressive English2	2	2		
			English for Academic Purposes1	2		2	
			English for Academic Purposes2	2		2	
			総合研究英語1 **	2		2	
			総合研究英語2 **	2		2	
			英語音声学	2		2	
			児童英語教育指導法1	2		2	
			児童英語教育指導法2	2		2	
			イギリス文化と文学入門 **	2		2	
			アメリカ文化と文学入門 **	2		2	
			世界のことば	2		2	
			通訳・翻訳の技法	2		2	
			通訳・翻訳の理論	2		2	
			言語学	2		2	
			英文法 (Modern English Grammar)	2		2	
			比較文化論	2		2	
			多文化社会論	2		2	
			国際環境論	2		2	
			資源と環境	2		2	
			マスメディア論	2		2	
			都市社会論	2		2	
			観光学	2		2	
			アメリカの社会と文化	2		2	
			アジアの社会と文化	2		2	
			ヨーロッパの社会と文化	2		2	
			Issues in Globalization	2		2	
			教育原理	2		2	
			教育課程論	2		2	
			英語科教育法 I-1	2		2	
			英語科教育法 I-2	2		2	
			教育制度比較論	2		2	
			英語教育概論	2		2	
Progressive English3	2		2				
Progressive English4	2		2				
English for Academic Purposes3	2		2				
English for Academic Purposes4	2		2				
英語文化論1 **	2		2				
英語文化論2 **	2		2				
アメリカ文学 **	2		2				
イギリス文学 **	2		2				
英語のしくみ1 **	2		2				
英語のしくみ2 **	2		2				
教育言語学1 **	2		2				
教育言語学2 **	2		2				
英米児童文化1	2		2				
英米児童文化2	2		2				
日英語のレトリック	2		2				
異文化交流論	2		2				
アメリカ地域研究	2		2				
アジア地域研究	2		2				
ヨーロッパ地域研究	2		2				
情報と社会	2		2				
都市観光論	2		2				
Topics in Globalization1	2		2				
Topics in Globalization2	2		2				
対照言語学	2		2				
第二言語習得理論	2		2				
英語科教育法 II-1	2		2				
英語科教育法 II-2	2		2				
教育方法論 I	2		2				
教育方法論 II	2		2				
英語教育研究	2		2				
英語授業研究	2		2				

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
英語 コミュニケーション ニケーション 学科	専門 展 開 科 目	移民と多文化	2		2	
		比較宗教論	2		2	
		ビッグデータと現代社会	2		2	
		世界の地誌と観光	2		2	
		日本の伝統文化	2		2	
		グローバルPBL1	2		2	
		日本語教育法入門	2		2	
		日本文学	2		2	
		道德教育指導法	2		2	
		特別活動指導法	2		2	
		生徒指導・進路指導	2		2	
		世界のリーダー	2		2	
		国際日本研究	2		2	
		メディア文化論	2		2	
		報道とメディアの世界	2		2	
		企業活動と環境	2		2	
		国際観光政策	2		2	
		ホスピタリティ・ツーリズム	2		2	
		スポーツと国際社会	2		2	
		国際協力キャリアの世界	2		2	
		航空ビジネスの英語	2		2	
		観光ビジネスの英語	2		2	
		グローバルPBL2	2		2	
		エコツーリズム論	2		2	
		ポップカルチャー	2		2	
		日本語研究1 (文法)	2		2	
		日本語研究2 (音声)	2		2	
		日本語研究3 (語彙)	2		2	
		日本語研究4 (歴史)	2		2	
		日本語教育実習	1		1	
		教育心理学	2		2	
		教育相談の基礎	2		2	
		スクールカウンセリング	2		2	
		学校インターンシップ	2		2	
		日本語教育法1	2		2	
		日本語教育法2	2		2	
		事前・事後指導	1		1	
		中学校教育実習	4		4	
	高等学校教育実習	2		2		
	教職実践演習 (中高)	2		2		
	専門ゼミ	専門基礎演習A	2	2		
		専門基礎演習B	2	2		
専門応用演習		4	4			
卒業研究演習		4	4			
卒業論文・卒業制作		4	4			
		計	250	22	228	
		合計	402	41	361	

e) 基本教育科目 (人間科学部 人間科学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
人間科学科	教養演習科目	教養基礎演習A	1	1		基本教育科目は、以下の要件を満たしたうえ合計46単位以上を修得しなければならない。 なお、専門教育科目の各科目区分の要件を満たしたうえ78単位を超えて修得した単位については、4単位を上限として教養基礎科目の単位とみなすことができる。 ①教養演習科目は必修科目2単位を修得しなければならない。 ②表現伝達科目は、必修科目13単位及び英語表現科目の「応用英語Ⅱ」より2科目2単位を含め、合計18単位以上を修得しなければならない。 ③教養基礎科目は、区分に関らず22単位以上を修得しなければならない。 ④キャリア教育科目は、必修科目2科目4単位を含め、合計4単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目より修得した単位は、教養基礎科目の単位とみなすことができる。 日本語A、Bの履修は、留学生・帰国学生に限る。
		教養基礎演習B	1	1		
	英語表現科目	基礎英語1A	1	1		
		基礎英語1B	1	1		
		基礎英語2A	1	1		
		基礎英語2B	1	1		
		基礎英語3A	1	1		
		基礎英語3B	1	1		
		基礎英語4A	1	1		
		基礎英語4B	1	1		
		応用英語ⅠA	1	1		
		応用英語ⅠB	1	1		
		応用英語Ⅱ-1A	1		1	
		応用英語Ⅱ-1B	1		1	
		応用英語Ⅱ-2A	1		1	
		応用英語Ⅱ-2B	1		1	
		応用英語Ⅱ-3A	1		1	
		応用英語Ⅱ-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-2A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-2B	1		1	
		応用英語Ⅲ-1A	1		1	
		応用英語Ⅲ-1B	1		1	
		応用英語Ⅲ-2A	1		1	
		応用英語Ⅲ-2B	1		1	
		応用英語Ⅲ-3A	1		1	
		応用英語Ⅲ-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-1B	1		1	
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-2A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-2B	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-1A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-1B	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-2A	1		1		
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-2B	1		1		
	初習外国語科目	フランス語A	1		1	
		フランス語B	1		1	
		中国語A	1		1	
		中国語B	1		1	
		ハングルA	1		1	
		ハングルB	1		1	
		スペイン語A	1		1	
		スペイン語B	1		1	
		日本語A	1		1	
		日本語B	1		1	
		フランス語会話	1		1	
中国語会話		1		1		
ハングル会話	1		1			
スペイン語会話	1		1			
英日 日英 特講	日本語表現法	1	1			
	日本語表現技法	1		1		
情報処理科目	情報処理基礎A	1	1			
	情報処理基礎B	1	1			
	情報処理応用A	1		1		
	情報処理応用B	1		1		
	情報処理法1(統計分析)	1		1		
	情報処理法2(プレゼンテーション)	1		1		
	情報処理法3(グラフィックデザイン)	1		1		
	情報処理法4(プログラミング)	1		1		

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件	
人間 科学 科	人間 理解	哲学	2		2		
		心理学	2		2		
		宗教学	2		2		
	保健学	2		2			
			スポーツ1	1			1
			スポーツ2	1			1
			スポーツ3	2			2
	文化・ 芸術 理解	文学	2		2		
		音楽学	2		2		
		舞台芸術	2		2		
		映像文化	2		2		
		世界の美術	2		2		
		博物館学	2		2		
	法 学	法学	2		2		
		政治と経済	2		2		
		社会学	2		2		
		社会思想	2		2		
		近現代日本史	2		2		
		情報学	2		2		
	世界 理解	文化人類学	2		2		
		近現代世界史	2		2		
		世界の文化と地域社会	2		2		
		海外文化演習Ⅰ	2		2		
		海外文化演習Ⅱ	2		2		
		国際体験演習Ⅰ	2		2		
		国際体験演習Ⅱ	2		2		
		地理学	2		2		
		国際関係学	2		2		
		安全保障論	2		2		
	現 代 の 探 求	日本社会の抱える諸問題	2		2		
		国際社会の抱える諸問題	2		2		
		生活と環境	2		2		
		科学技術と人間	2		2		
		先端科学の世界	2		2		
		現代社会とジェンダー	2		2		
	キ ャ リ ア 教 育 科 目	キャリアのススメ	2		2		
		スタートアップ・インターンシップ	1		1		
		セルフディベロップメント認定Ⅰ	1		1		
		セルフディベロップメント認定Ⅱ	2		2		
		キャリアデザイン入門	2	2			
		インターンシップ演習Ⅰ	1		1		
キャリアデザイン		2	2				
インターンシップ演習Ⅱ		1		1			
業界研究		2		2			
就職実践演習		2		2			
計			148	19	129		

f) 専門教育科目 (人間科学部 人間科学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件	
人間科学科	専門基礎科目	心理学概論	2		2	専門教育科目は、以下の要件を満たしたうえで合計78単位以上を修得しなければならない。 なお、基本教育科目の各科目区分の要件を満たしたうえで46単位を超えて修得した単位については、4単位を上限として、他学部専門教育科目で修得した単位については、12単位を上限として専門教育科目の単位とみなすことができる。 ①専門基礎科目は、必修科目「人間科学基礎演習A」「人間科学基礎演習B」を含め、12単位以上を修得しなければならない。	
		基礎心理学	2		2		
		対人関係論	2		2		
		スポーツ健康概論	2		2		
		スポーツ文化	2		2		
		人間学	2		2		
		東京学	2		2		
		犯罪学入門	2		2		
		現代社会論	2		2		
		人間科学基礎演習A	2	2			
		人間科学基礎演習B	2	2			
		心理学研究法	2		2		
		心理演習	2		2		
		心理学実験	2		2		
		臨床心理学概論	2		2		
		心理学統計法	2		2		
	健康管理学	2		2			
	スポーツ生理学	2		2			
	公共政策入門	2		2			
	地域コミュニティ論入門	2		2			
	専門教育科目	専門基礎科目	知覚・認知心理学	2		2	②3・4年次において専門ゼミ科目3科目12単位を修得しなければならない。
			感情・人格心理学	2		2	
			発達心理学	2		2	
			心理学的支援法	2		2	
			子ども学	2		2	
			保育の心理学	2		2	
			児童家庭福祉	2		2	
			社会・集団心理学 (社会・集団・家族心理学)	2		2	
			家族心理学 (社会・集団・家族心理学)	2		2	
			スポーツ心理学	2		2	
			スポーツバイオメカニクス	2		2	
			トレーニング科学	2		2	
			スポーツ医学	2		2	
			リサーチ入門	2		2	
			きずなとつながりの社会学	2		2	
			家族社会学	2		2	
			地域文化論	2		2	
			地域共生社会論	2		2	
			地域ではたらく (理論)	2		2	
			地域ではたらく (実習)	1		1	
			学習・言語心理学	2		2	
			神経・生理心理学	2		2	
			産業・組織心理学	2		2	
			心理検査演習	2		2	
			福祉心理学	2		2	
			障害者・障害児心理学	2		2	
教育・学校心理学			2		2		
運動・スポーツ指導論			2		2		
栄養学			2		2		
スポーツカウンセリング			2		2		
スポーツマネジメント	2		2				
スポーツマーケティング	2		2				
ボランティア論	2		2				
人体の構造と機能及び疾病	2		2				
地域創造演習A	2		2				
地域創造演習B	2		2				
コミュニティ・リーダーシップ論	2		2				
行政学	2		2				
公共政策論	2		2				
社会安全政策論	2		2				
社会福祉学	2		2				
キャリア形成論	2		2				
関係行政論	2		2				

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
人間科学科	専門教育科目	健康・医療心理学	2		2	
		臨床心理学研究1(基礎)	2		2	
		臨床心理学研究2(応用)	2		2	
		子どもの保健	2		2	
		保育の表現技術	2		2	
		ピアカウンセリング	2		2	
		コーチング論	2		2	
		体力トレーニング実習	1		1	
		テニスの指導理論	2		2	
		地方自治論	2		2	
		地域政策論	2		2	
		まちづくり論	2		2	
		環境問題入門	2		2	
		人間科学総合講座	2		2	
		精神疾患とその治療	2		2	
		公認心理師の職責	2		2	
		心理的アセスメント	2		2	
		司法・犯罪心理学	2		2	
		保育体験	2		2	
		日本文化と心的世界	2		2	
		運動・スポーツ指導の実践	2		2	
		レクリエーションの理論と実践	2		2	
		エアロビックダンス	1		1	
		水泳	1		1	
		ウォーキング・ジョギング	1		1	
		社会体育理論と実践	2		2	
		被害者学	2		2	
	NPO論	2		2		
	地域環境論	2		2		
	世界の地域文化	2		2		
	心理実習	2		2		
	科ゼ専門 目ミ門	専門応用演習	4	4		
		卒業研究演習	4	4		
卒業論文		4	4			
		計	195	16	179	
		合計	343	35	308	

g) 基本教育科目 (現代経営学部 現代経営学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
現代経営学科	教養演習科目	教養基礎演習A	1	1		教養演習科目は必修科目2単位を修得しなければならない。
		教養基礎演習B	1	1		
	英語表現科目	基礎英語1A	1	1		表現伝達科目は、必修科目13単位及び英語表現科目の「応用英語Ⅱ」より2科目2単位を含め、合計18単位以上を修得しなければならない。
		基礎英語1B	1	1		
		基礎英語2A	1	1		
		基礎英語2B	1	1		
		基礎英語3A	1	1		
		基礎英語3B	1	1		
		基礎英語4A	1	1		
		基礎英語4B	1	1		
		応用英語ⅠA	1	1		
		応用英語ⅠB	1	1		
		応用英語Ⅱ-1A	1		1	
		応用英語Ⅱ-1B	1		1	
		応用英語Ⅱ-2A	1		1	
		応用英語Ⅱ-2B	1		1	
		応用英語Ⅱ-3A	1		1	
		応用英語Ⅱ-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-2A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅰ-2B	1		1	
		応用英語Ⅲ-1A	1		1	
		応用英語Ⅲ-1B	1		1	
		応用英語Ⅲ-2A	1		1	
		応用英語Ⅲ-2B	1		1	
		応用英語Ⅲ-3A	1		1	
		応用英語Ⅲ-3B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-2A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅱ-2B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-1A	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-1B	1		1	
		ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-2A	1		1	
	ALPS(英語特別選抜クラス)Ⅲ-2B	1		1		
	初習外国語科目	フランス語A	1		1	日本語A、Bの履修は、留学生・帰国学生に限る。
		フランス語B	1		1	
		中国語A	1		1	
		中国語B	1		1	
		ハングルA	1		1	
		ハングルB	1		1	
		スペイン語A	1		1	
		スペイン語B	1		1	
		日本語A	1		1	
		日本語B	1		1	
		フランス語会話	1		1	
中国語会話	1		1			
ハングル会話	1		1			
スペイン語会話	1		1			
英日現本特講	日本語表現法	1	1			
	日本語表現技法	1		1		
情報処理科目	情報処理基礎A	1	1			
	情報処理基礎B	1	1			
	情報処理応用A	1		1		
	情報処理応用B	1		1		
	情報処理法1(統計分析)	1		1		
	情報処理法2(プレゼンテーション)	1		1		
	情報処理法3(グラフィックデザイン)	1		1		
情報処理法4(プログラミング)	1		1			

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件			
現代経営学科	基本教育科目	人間理解	哲学	2		2	教養基礎科目は、区分に関らず22単位以上を修得しなければならない。		
			心理学	2		2			
			宗教学	2		2			
		保健学	2		2				
				スポーツ1	1			1	
				スポーツ2	1			1	
				スポーツ3	2			2	
		文化・芸術理解	文学	2		2			
			音楽学	2		2			
			舞台芸術	2		2			
			映像文化	2		2			
			世界の美術	2		2			
			博物館学	2		2			
		教養基礎	社会学理解	法学	2			2	
				政治と経済	2			2	
					社会学	2			2
					社会思想	2			2
					近現代日本史	2			2
					情報学	2			2
		世界理解	社会学理解	日本国憲法	2			2	
				文化人類学	2			2	
				近現代世界史	2			2	
				世界の文化と地域社会	2			2	
				海外文化演習Ⅰ	2			2	
				海外文化演習Ⅱ	2			2	
				国際体験演習Ⅰ	2			2	
				国際体験演習Ⅱ	2			2	
				地理学	2			2	
				国際関係学	2			2	
				安全保障論	2			2	
		現代の探求	社会学理解	日本社会の抱える諸問題	2			2	
				国際社会の抱える諸問題	2			2	
				生活と環境	2			2	
				科学技術と人間	2			2	
				先端科学の世界	2			2	
				現代社会とジェンダー	2			2	
				生命と倫理	2			2	
		キャリア教育科目	社会学理解	キャリアのススメ	2			2	
				スタートアップ・インターンシップ	1			1	
				セルフディベロップメント認定Ⅰ	1			1	
セルフディベロップメント認定Ⅱ	2				2				
キャリアデザイン入門	2			2					
インターンシップ演習Ⅰ	1				1				
キャリアデザイン	2			2					
インターンシップ演習Ⅱ	1				1				
業界研究	2				2				
就職実践演習	2				2				
計			148	19	129	キャリア教育科目は、必修科目2科目4単位を含め、合計4単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目より修得した単位は、教養基礎科目の単位とみなすことができる。			

h) 専門教育科目 (現代経営学部 現代経営学科)

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件
現代経営学科	専 門 基 幹 科 目	経営入門	2	2		①専門基礎科目は、以下の要件を満たしたうえで合計78単位以上を修得しなければならない。 なお、基本教育科目の各科目区分の要件を満たしたうえで46単位を超えて修得した単位、専門基幹科目の要件を満たしたうえで22単位を超えて修得した単位および他学部専門科目で修得した単位については、12単位を上限として専門展開科目の単位とみなすことができる。但し、12単位に含めることができるのは、基本教育科目及び専門基幹科目については合わせて8単位を上限とする。 ②専門基幹科目は、「経営管理」「経営戦略」「マーケティング戦略」「マーケティング・リサーチ」「マイクロ経済」「マクロ経済」から、2科目4単位を含め合計22単位以上を修得しなければならない。 ③専門展開科目は、所属専攻別に指定された科目群より、必修3科目6単位、選択科目3科目6単位以上を含め、所属専攻以外の専攻別科目群(必修及び選択)並びに専攻共通科目群からの単位修得と合わせ、合計38単位以上を修得しなければならない。 ④専門演習科目は、6科目12単位を修得しなければならない。
		マーケティング入門	2	2		
		経済入門	2	2		
	専 門 展 開 科 目	簿記入門	2		2	
		会計入門	2		2	
		流通入門	2		2	
		経済の見方	2		2	
		法律入門	2		2	
		統計入門	2		2	
		政治学入門	2		2	
		人間関係論	2		2	
		経営管理	2		2	
		経営戦略	2		2	
		マーケティング戦略	2		2	
		マーケティング・リサーチ	2		2	
		マイクロ経済	2		2	
		マクロ経済	2		2	
		人的資源基礎	2		2	
		会計情報	2		2	
		サービス経営基礎	2		2	
		ファイナンス基礎	2		2	
		簿記	2		2	
		統計	2		2	
		民法	2		2	
		企画・プレゼンテーション技法	2		2	
		販売サービスⅠ	2		2	
		販売サービスⅡ	2		2	
		情報処理検定Ⅰ	2		2	
		情報処理検定Ⅱ	2		2	
		ビジネス能力検定	2		2	
		トッパマネジメント特別講義	2		2	
		組織行動	2		2	
		企業倫理と社会正義	2		2	
		現代企業ケース研究	2		2	
		国際経営	2		2	
		グローバル人材開発	2		2	
		人的資源管理	2		2	
		ビジネス交渉	2		2	
		新事業開発	2		2	
		起業ショップ経営	2		2	
		事業継承概論	2		2	
	老舗企業ケース研究	2		2		
プロジェクトマネジメント	2		2			
中小企業論	2		2			
財務会計	2		2			
管理会計	2		2			
情報管理	2		2			
オペレーションズリサーチ	2		2			
コーポレートファイナンス	2		2			
商品開発ケース研究	2		2			
広告論	2		2			
デザインマネジメント	2		2			
サービスビジネス特別講義	2		2			
サービスマーケティング	2		2			
インターネットマーケティング	2		2			
消費者行動	2		2			
流通ビジネス経営	2		2			
店舗経営	2		2			
フードサービス経営	2		2			
コンテンツビジネス	2		2			
スポーツビジネスケース研究	2		2			
イベントプロデュースケース研究	2		2			
ウェブコミュニケーション	2		2			
ビジネス経済	2		2			
産業組織論	2		2			
労働経済	2		2			
ファイナンシャル経済	2		2			
日本経済	2		2			

学科	区分	授業科目	単位数	必修	選択	卒業要件	
現代経営学 学科	専門 開 展 教 育 科 目	国際経済	2		2		
		経済政策	2		2		
		財政学	2		2		
		金融論	2		2		
		金融ビジネス	2		2		
		証券投資	2		2		
		証券市場	2		2		
		資産運用Ⅰ	2		2		
		資産運用Ⅱ	2		2		
		ビジネス法	2		2		
		リスクマネジメント	2		2		
		リーダーシップ論	2		2		
		戦略思想概論	2		2		
		ビジネス・リーディング	2		2		
		海外ビジネス研究	2		2		
		ビジネス英語Ⅰ	2		2		
		ビジネス英語Ⅱ	2		2		
		卒業論文	4		4		
		専門 演 習 科 目	ビジネス基礎演習Ⅰ	1	1		
			ビジネス基礎演習Ⅱ	1	1		
	専門基礎演習Ⅰ		1	1			
	専門基礎演習Ⅱ		1	1			
	専門応用演習		4	4			
	卒業研究演習		4	4			
	計			186	18		168
	合計			334	37		297

別表2. 検定料、入学金、授業料、その他

イ、検定料	30,000円
ロ、入学金	300,000円
ハ、授業料	900,000円
ニ、維持費	100,000円
ホ、施設設備費	100,000円

学校法人東洋学園の設置する学校を卒業した者、又はその課程を修了した者の学納金は別に定める。

所定の修業年限を超えて在学する者の学納金は別に定める。

この別表に規定するもののほか、検定料、入学金、授業料その他の納付金の取扱いに関し、必要な事項は、別に定める。